悪性外毛根鞘腫

悪性外毛根鞘腫の3例

宮本 秀明* 大井田美保*

Summary

We report three patients with malignant trichilemmoma. Case 1: A 91-year-old man with a nodule 14 mm in diameter on his temple. Case 2: An 85-year-old man with a nodule measuring 22×26×4 mm on the dorsum of the foot. Case 3: A 90-year-old man with a nodule measuring 16×15×7 mm on the cheek. In all three cases, surgery was carried out, and the histopathological features of the specimens revealed typical patterns of malignant trichilemmoma.

At our clinic, we have encountered six patients with malignant trichilemmoma including these three patients in a 14-year period (1980-1993). The patients comprised 4 males and 2 females with an average age of 84.2 years. Multiple tumors were seen in only one case. The tumors were located on the face in 4 cases, and on the head and leg in one case each, respectively.

はじめに

われわれは既に本学会で悪性外毛根鞘腫を3例¹⁾²⁾報告したが、今回さらに本症を3例経験したので、ここに報告した。既報告の3例と今回の3例を加えると、当科で最近14年間に経験した悪性外毛根鞘腫は6例となるが、この6例に関して若干の考察を加えた。

症 例

症例A：91歳，男。無職，元理容師

初 診：1990年7月21日

主 訴：右眉の外側上方の結節。

家族歴：特記事項無し

既往歴：特記事項無し

現病歴：1年前から右眉の上方に丘疹が出現し、徐々に増大した。疼痛等の自覚症状はなかった。

現 症：左眉外側上方に表面疣状直径14mmの褐色の結節を認めた（図1.a）。脂漏性角化症，ケラトアカントーマ，尋常性疣贅を疑い，3mm離して全摘手術をした。

病理組織学的所見：表皮は著明に肥厚し，外側に向かって乳頭状に突出し，表皮内の腫瘍細胞巢を構成する細胞は，その辺縁すなわち基底膜側では小型の基底細胞様細胞で中心に向かうにつれて胞体の明るい円形から楕円形の細胞すなわち clear cell が主体となっていた（図1.b）。この細胞はPAS染色で陽性所見を示した。

* Hideaki MIYAMOTO, Miho OIDA：平塚共済病院皮膚科

また核の大小不同や核分裂像を示す異型性の強い細胞も見られた (図 1. c)。

以上から悪性外毛根鞘腫と診断し、第 1 回目の手術から 26 日後に、手術瘢痕から 10mm 離して切除した。術後は局所再発も転移も見られなかったが、第 2 回目の手術から 3 年 4 ヶ月後に肺炎のため死亡した。

症例 B : 85 歳, 男

主 訴 : 左足背の腫瘍

初 診 : 1990 年 9 月 10 日

家族歴 : 特記事項無し

既往歴 : 特記事項無し

現病歴 : 半年前に、左足背に腫瘍が出現した。某開業医にて外用剤塗布の治療を受けていたが、徐々に増大してきたため皮膚癌を疑われ、当院外科に紹介された。外科での皮膚生検で keratinizing squamous cell carcinoma の診断を受けたので、当科に紹介された。

現 症 : 左足背に表面に痂皮とびらんを伴う淡紅色、22×26×4mm の有茎性腫瘍を認めた (図 2. a)。悪臭があり、かゆみも伴った。腫瘍の辺縁から 10mm 離して切除し全層植皮を行った。

病理組織学的所見 : 表皮は著明に肥厚し、真皮乳頭の延長を認めた。表皮内の腫瘍細胞巢を構成する細胞は、辺縁の小型の基底細胞様細胞と中心部の clear cell が主体となっていた。trichilemmal keratinization もみられた (図 2. b)。clear cell は PAS 染色で陽性所見を示した (図 2. c) また核の大小不同や核分裂像を示す異型性の強い細胞も見られた (図 2. d)。

以上から悪性外毛根鞘腫と診断した。手術の 5 週後の受診以来、3 年半たった今日まで来院していない。

症例 C : 90 歳, 男

主 訴 : 左頬の腫瘍

図 1. 症例 A

- a. 初診時現症, 中央の結節, 右眉外側.
- b. 病理組織像, HE 染色, 5×
- c. 病理組織像, HE 染色, 66×

図2. 症例B

- a. 初診時現症, 左足背
- b. 病理組織像, HE 染色, 5×
- c. 病理組織像, PAS 染色, 25×
- d. 病理組織像, HE 染色, 33×

初 診：1991年 6 月25日

家族歴：不明

既往歴：脳梗塞後遺症, 骨粗鬆症, 高血圧, 慢性胃炎, 両側嚢胞腎

現病歴：いつからかは全く不明だが, 左頬に結節が出現し, 徐々に増大してきた。3週間前からジクジクしてきた。

現 症：左頬に半球状16×15×7mmの褐色の結節を認めた(図3.a)。頸部リンパ節は触知しなかった。悪性外毛根鞘腫, 有棘細胞癌, メルケル細胞腫を考えて皮膚生検したところ, 悪性外毛根鞘腫の所見を得たので, 外来にて全摘切除縫縮術を施行した。

病理組織学的所見：表皮は著明に肥厚し, 真皮乳頭の延長を認めた。表皮内の腫瘍細胞巣を

構成する細胞は, 辺縁の小型の基底細胞様細胞と中心部の clear cell が主体となっていた (図3.b)。clear cell は PAS 染色で陽性所見を示した(図3.c)。また核の大小不同や核分裂像を示す異型性の強い細胞も見られた (図3.d)。

術後10ヵ月目に他の疾患で受診したが, 以後2年後の現在まで来院していない。

考 察

当科では最近14年間に 6 例の悪性外毛根鞘腫を経験した(表1)。表1の症例 No.は受診の順につけたので, 今回報告した症例A, B, Cがここではそれぞれ症例 4, 5, 6 に相当する。症例 1 と 6 で初診までの期間がはっきりしない

図3. 症例C

- a. 初診時現症, 左頬.
b. 病理組織像, HE 染色, 5×
c. 病理組織像, PAS 染色, 50×
d. 病理組織像, HE 染色, 16×

表1. 当科で経験した悪性外毛根鞘腫の6例 (1980~1993)

症例 No.	初 診	年齢 ・ 性	初診まで の期間	発症 部位	転 移	治療	備考
1	'87	77 F	?	額部	—	切除植皮	精神病院入院中
2	'89	74 F	2-3 年	頬部	—	切除皮弁	独居
3	'89	88 M	2-3 年	頭部	—	切除植皮	多発性
4	'90	91 M	1 年	額部	—	切除縫縮	無し
5	'90	85 M	半年	足背	—	切除植皮	無し
6	'91	90 M	?	頬部	—	切除縫縮	老人施設入所中

のは、症例1は脳出血後の痴呆症で精神病院入院中、症例6は脳梗塞後遺症で老人施設入所中で、しかも2人とも会話はほとんどできない状態だったためである。近江ら³⁾の本邦における悪性外毛根鞘腫42例の検討によれば平均年齢は74.5歳、男女比は1:1、好発部位は顔面43%、下肢26%、頭部と体幹が14%とのことである。当科の6例では男女比4:2、発症部位は顔面

4例、頭部と下肢が各1例であり、近江らの報告ときほどの隔たりは無いようである。しかし、特筆すべきは当科での平均年齢は84.2歳と近江らの74.5歳よりも9.7歳も高い。金ら⁴⁾による横浜市大皮膚科最近13年間(1981~1993)の悪性外毛根鞘腫11例の平均年齢は65.3歳だが、それと比較すると18.9歳も高齢であった。その理由ははっきりしないが様々なことが考えられる。

自分の意思をはっきり明示することができない症例1と2を除いた4例のうち、症例4と5では、受診から手術に至るまでの過程が特に問題なく進んだが、症例2と3は手術に対してかなり強い拒絶を示し、同意に至るまでムンテラに忍耐と時間を要した。また、症例1が入院中の病院も、症例6が入所中の老人施設ともに平塚市内にあり、所在地から遠方にある大学病院やがんセンターに受診させるのが困難であった。それらのことが、大学病院やがんセンターの患者よりも当科のほうが高齢となる理由になるのでは無いかと推察された。

文 献

- 1) 宮本秀明, 大勝美保, 斉藤すみ: 悪性外毛根鞘腫の3例. *Skin Cancer*, 6, 393-396, 1991.
- 2) 宮本秀明, 大井田美保, 内山光明: 光線角化症に由来したと思われる悪性外毛根鞘腫(多発性)の1例. *Skin Cancer*, 7, 321-325, 1992.
- 3) 近江正人, 小幡秀一, 山本達雄: Malignant Trichilemmoma の1例—本邦報告例(42例)の統計的考察を加えて—. *皮膚臨床*, 31, 1703-1707, 1989.
- 4) 金 秀澤, 高橋さなみ, 長谷哲男, 他: 悪性増殖性外毛根鞘嚢腫の1例. *Skin Cancer*, 9, 256-259, 1994.